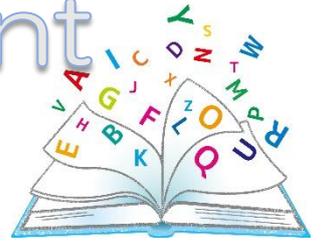


# Welcome to the page of English Department



## 英語科の目標

本校英語科では、以下のようにサブジェクトポリシー(e-Policy)を設定しています。  
各学年の最終段階で、以下のレベルに達していることが目標です。

愛知教育大学附属高等学校英語科サブジェクトポリシー e-Policy																			
<p>●英語科の目指す人間像</p> <p>(1) あたらしい人間になろう：周囲の人や地域社会に興味・関心があり、自ら課題や問題を発見・提示し、その解決に向けて努力することができる (学びの楽しさ・人間性)</p> <p>(2) たくましい人間になろう：これからの国際社会で求められる知識・技能を身につけることができる (知識・技能)</p> <p>(3) おおらかな人間になろう：多様な思想・信条・人種で構成される世界を認め、他者との関わりの中で自分のもつ能力を最大限発揮することができる (思考力・判断力・表現力)</p> <p>●卒業時までには獲得を目指す英語力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的/社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握し、概要や要点を的確に捉えることができる (読むこと)</li> <li>・日常的/社会的な話題について、必要な情報を読み取り、話し手の意図を把握し、概要や要点を的確に捉えることができる (聞くこと)</li> <li>・日常的/社会的な話題について、意見や主張などを論理的に展開させた文章を書いて、伝えることができる (書くこと)</li> <li>・日常的/社会的な話題について、情報や考え、気持ちを伝え合うやりとりを、論理性に注意して続けることができる (話すこと [やりとり])</li> <li>・日常的/社会的な話題について、情報や考えなどを標準的・論理的な表現を用いてまとめ、発表することができる (話すこと [発表])</li> </ul>																			
↑ ↑ ↑																			
<p>&lt;第3学年&gt; (R6以降)</p> <p>外部指標 ・英検 2級以上(受験者の合格率70%以上) ・GTEC 受験者の平均スコア700~1050点 ・TOEIC 受験者の平均スコア450~550点</p> <p>英コミュIII 教科書の題材を使い、また自身の問題意識から、世界の問題について自分の表現を加えながら読解・発信できるようにする。</p> <p>論理・表現III 1・2年次に学んだことを生かしながら、世界の諸問題に対して適切な表現ができる演習をする。論理的な表現方法の実践演習を継続する。</p> <p>応用英語 ブレゼン(ポスター発表を含む)、ディスカッション、ディベート等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>読むこと</th> <th>聞くこと</th> <th>書くこと</th> <th>話すこと(やりとり)</th> <th>話すこと(発表)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150wpm以上でCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。</td> <td>前もって語彙の発音を練習した上で、CEFR B1に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。</td> <td>教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、80~100語で論理的な流れを意識した英文を書ける。</td> <td>ある程度なじみのある内容や個人的に関心のある具体的なトピックであれば、ある程度の流暢さで簡単な英語を幅広く使い、順序立てた意見の表明や、情報の交換ができる。</td> <td>事前に準備したメモ等の助けがあれば、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について、ある程度の流暢さで簡単な英語を幅広く使い、自分の感想や意見を順序立てて語る事ができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価方法(観点別評価)</p> <p>課題、授業での活動の観察、活動の振り返り(1)</p> <table border="1"> <tr> <td>定期考査(2)</td> <td>定期考査(2)</td> <td>定期考査(2)(3)</td> <td>パフォーマンステスト(3)</td> </tr> </table>						読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	150wpm以上でCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	前もって語彙の発音を練習した上で、CEFR B1に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、80~100語で論理的な流れを意識した英文を書ける。	ある程度なじみのある内容や個人的に関心のある具体的なトピックであれば、ある程度の流暢さで簡単な英語を幅広く使い、順序立てた意見の表明や、情報の交換ができる。	事前に準備したメモ等の助けがあれば、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について、ある程度の流暢さで簡単な英語を幅広く使い、自分の感想や意見を順序立てて語る事ができる。	定期考査(2)	定期考査(2)	定期考査(2)(3)	パフォーマンステスト(3)
読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)															
150wpm以上でCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	前もって語彙の発音を練習した上で、CEFR B1に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、80~100語で論理的な流れを意識した英文を書ける。	ある程度なじみのある内容や個人的に関心のある具体的なトピックであれば、ある程度の流暢さで簡単な英語を幅広く使い、順序立てた意見の表明や、情報の交換ができる。	事前に準備したメモ等の助けがあれば、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について、ある程度の流暢さで簡単な英語を幅広く使い、自分の感想や意見を順序立てて語る事ができる。															
定期考査(2)	定期考査(2)	定期考査(2)(3)	パフォーマンステスト(3)																
↑ ↑ ↑																			
<p>&lt;第2学年&gt; (R5以降)</p> <p>外部指標 ・英検 準2級~2級(受験者の合格率70%以上) ・GTEC 受験者の平均スコア600~950点 ・TOEIC 受験者の平均スコア400~500点</p> <p>英コミュII 教科書の題材を使って、世界の問題について自分の表現を加えながら読解・発信できるようにする。</p> <p>論理・表現II 1年次に学んだことを生かしながら、世界の諸問題に対して適切な表現ができる方法を学ぶ。論理的な表現方法の実践演習を加える。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>読むこと</th> <th>聞くこと</th> <th>書くこと</th> <th>話すこと(やりとり)</th> <th>話すこと(発表)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120~150wpmでCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。</td> <td>CEFR A2に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。</td> <td>教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、60語~80語で論理的な流れを意識した英文を書ける。</td> <td>予想できる日常的な状況や教科書のトピックについて、簡単な英語で、自分の意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの意見に理由を加えて伝えたりできる。</td> <td>前もって話すことを用意した上で、(自分に関連のある)身近なトピックについて、写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、教科書で学んだ一連の簡単な単語や文を使って、短いスピーチができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価方法(観点別評価)</p> <p>課題、授業での活動の観察、活動の振り返り(1)</p> <table border="1"> <tr> <td>定期考査(2)</td> <td>定期考査(2)</td> <td>定期考査(2)(3)</td> <td>パフォーマンステスト(3)</td> </tr> </table>						読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	120~150wpmでCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	CEFR A2に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、60語~80語で論理的な流れを意識した英文を書ける。	予想できる日常的な状況や教科書のトピックについて、簡単な英語で、自分の意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの意見に理由を加えて伝えたりできる。	前もって話すことを用意した上で、(自分に関連のある)身近なトピックについて、写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、教科書で学んだ一連の簡単な単語や文を使って、短いスピーチができる。	定期考査(2)	定期考査(2)	定期考査(2)(3)	パフォーマンステスト(3)
読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)															
120~150wpmでCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	CEFR A2に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、60語~80語で論理的な流れを意識した英文を書ける。	予想できる日常的な状況や教科書のトピックについて、簡単な英語で、自分の意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの意見に理由を加えて伝えたりできる。	前もって話すことを用意した上で、(自分に関連のある)身近なトピックについて、写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、教科書で学んだ一連の簡単な単語や文を使って、短いスピーチができる。															
定期考査(2)	定期考査(2)	定期考査(2)(3)	パフォーマンステスト(3)																
↑ ↑ ↑																			
<p>&lt;第1学年&gt;</p> <p>外部指標 ・英検 準2級(受験者の合格率70%以上) ・GTEC 受験者の平均スコア500~850点 ・TOEIC 受験者の平均スコア350~450点</p> <p>英コミュI 教科書の題材を元に、世界の問題について教科書の表現を使って読解・発信できるようにする。</p> <p>論理・表現I 自己表現するために必要な文法事項や構文を教科書の表現で習得する。論理的な表現方法の基礎を学ぶ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>読むこと</th> <th>聞くこと</th> <th>書くこと</th> <th>話すこと(やりとり)</th> <th>話すこと(発表)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100~120wpmでCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。</td> <td>前もって語彙の発音を練習した上で、CEFR A2に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。</td> <td>教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、40~60語で英文を書ける。</td> <td>前もって準備をし、個人的な(あるいはなじみのある)トピックについて、基礎的な単語や構文を使って簡単な質問応答をすることができる。</td> <td>前もって話すことを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な構文を用いた構文に用い、複数の文で意見を言うことができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価方法(観点別評価)</p> <p>課題、授業での活動の観察、活動の振り返り(1)</p> <table border="1"> <tr> <td>定期考査(2)</td> <td>定期考査(2)</td> <td>定期考査(2)(3)</td> <td>パフォーマンステスト(3)</td> </tr> </table>						読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	100~120wpmでCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	前もって語彙の発音を練習した上で、CEFR A2に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、40~60語で英文を書ける。	前もって準備をし、個人的な(あるいはなじみのある)トピックについて、基礎的な単語や構文を使って簡単な質問応答をすることができる。	前もって話すことを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な構文を用いた構文に用い、複数の文で意見を言うことができる。	定期考査(2)	定期考査(2)	定期考査(2)(3)	パフォーマンステスト(3)
読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)															
100~120wpmでCEFR A2に相当するパッケージを読み、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	前もって語彙の発音を練習した上で、CEFR A2に相当するパッケージを聞いて、その後の内容を問う問題に、70%以上正答できる。	教科書で学習した文法事項を適切に理解しており、ある程度なじみのある内容であれば、40~60語で英文を書ける。	前もって準備をし、個人的な(あるいはなじみのある)トピックについて、基礎的な単語や構文を使って簡単な質問応答をすることができる。	前もって話すことを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な構文を用いた構文に用い、複数の文で意見を言うことができる。															
定期考査(2)	定期考査(2)	定期考査(2)(3)	パフォーマンステスト(3)																
↑ ↑ ↑																			
<p>&lt;入学時の目標&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>読むこと</th> <th>聞くこと</th> <th>書くこと</th> <th>話すこと(やりとり・発表)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初歩的な英語を読んで、書き手の意図などを理解することができる。60~80wpmでCEFR A1に相当する文章を読み、内容を問う問題に、70%以上正答できる。</td> <td>初歩的な英語を聞いて、話し手の意図などを理解することができる。CEFR Pre-A1に相当する文章を聞いて、内容を問う問題に、70%以上正答できる。</td> <td>初歩的な英語を聞いて、自分の考えなどを書くことができる。学習した文法事項を適切に理解しており、なじみのある内容であれば、30~50語で英文を書ける。</td> <td>初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話すことができる。前もって準備をし、自分自身について、学んだ単語や構文を使って簡単な質問応答ができる。</td> </tr> </tbody> </table>						読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと(やりとり・発表)	初歩的な英語を読んで、書き手の意図などを理解することができる。60~80wpmでCEFR A1に相当する文章を読み、内容を問う問題に、70%以上正答できる。	初歩的な英語を聞いて、話し手の意図などを理解することができる。CEFR Pre-A1に相当する文章を聞いて、内容を問う問題に、70%以上正答できる。	初歩的な英語を聞いて、自分の考えなどを書くことができる。学習した文法事項を適切に理解しており、なじみのある内容であれば、30~50語で英文を書ける。	初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話すことができる。前もって準備をし、自分自身について、学んだ単語や構文を使って簡単な質問応答ができる。						
読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと(やりとり・発表)																
初歩的な英語を読んで、書き手の意図などを理解することができる。60~80wpmでCEFR A1に相当する文章を読み、内容を問う問題に、70%以上正答できる。	初歩的な英語を聞いて、話し手の意図などを理解することができる。CEFR Pre-A1に相当する文章を聞いて、内容を問う問題に、70%以上正答できる。	初歩的な英語を聞いて、自分の考えなどを書くことができる。学習した文法事項を適切に理解しており、なじみのある内容であれば、30~50語で英文を書ける。	初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話すことができる。前もって準備をし、自分自身について、学んだ単語や構文を使って簡単な質問応答ができる。																

## 受験生のみなさんへ

本校英語科では、スクールポリシーに基づいてサブジェクトポリシーを設定し、それに合わせて学力検査の内容やレベルを決めています。

また、令和5年度入試から問題の形式(特にリスニング問題)を大きく変更しますので、ご確認ください。

愛知教育大学附属高等学校を目指すみなさんへ

### 英語の入試問題について

本校英語科では、スクール・ポリシーに基づいてサブジェクト・ポリシーを策定しています(別表)。入学者選抜の試験では、サブジェクト・ポリシーに則って以下のように出題します。

試験時間：	45分(リスニング問題を含む)
点数：	40点満点(リスニング問題10点前後を含む)
出題の目的：	中学校までの既習事項を自分のものとして、読んだり聞いたりして理解し、また、場面に応じて表現できるかを測る。

具体的には、以下の力を測ります

#### 【知識・技能】

中学校までで既習の語句や熟語、文法項目について、読んだり聞いたりして正しく理解できるか、また、適切に活用できるか。

#### 【思考力・判断力・表現力】

中学校までで既習の語句や熟語、文法、表現を応用して

- ・初めての文章や会話を読んだり聞いたりして、多様なテキストから筆者や話者の意図を正しく汲み取ることができるか。
- ・初めての文章や会話を読んだり聞いたりして、相手の立場や場面に応じた表現ができるか。

#### 令和5年入試以降の変更点

- ・「英語」の試験時間にリスニング問題と筆記問題の両方を受験します。  
(リスニング試験と筆記試験の間の時間を区切りません)  
リスニング問題を最初に放送しますが、解答はいつしてもかまいません。
- ・リスニング問題では、質問および解答の選択肢が印刷してあります。  
本文や会話文の内容把握に重点を置くためです。

## ・ 英語コミュニケーション I

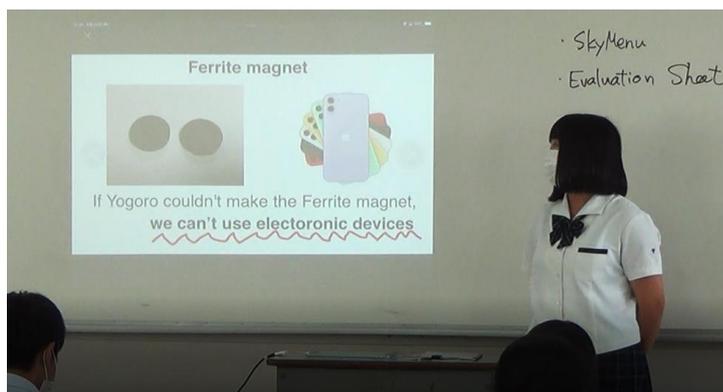
この授業の目標は、身近な話題だけではなく社会的問題などに関するまとまりのある長めの文章を読んだり聞いたりして【思考力】、内容を理解し【判断力】、自分のことばで要約して伝えることができるようになることです【表現力】。また関連したトピックについて自分自身の関心のある分野を調べ、文章やスピーチ、プレゼンテーションの形式で発表することも活動の一環です【思考力・判断力・表現力】。

それと並行して、教科書本文で扱った語彙や表現、文法等を定着することも大切です【知識・技能】。また、授業外では単語帳を利用して語彙力を高めます【知識】。週に1回のペースで単語テストが配信されるので、タブレットを用いてどこでも学習できるようになっています。

あるユニットでは、文化の多様性を保持することの重要性について、ハワイとマオリ族の文化を教科書で学び、その後、自分の身近な文化について紹介する活動をしました。



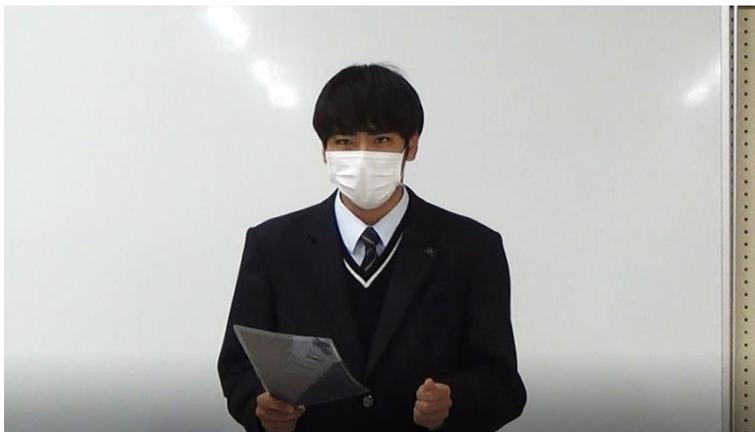
グループ内での発表



優秀者はクラス全体で発表します

タブレットを用いて、画面上のキーワードから、その場で文章にして紹介する練習をしました。

本校英語科では、年に2回、全ての英語科教員が生徒の口頭発表を評価をする「パフォーマンステスト」を実施しています。サブジェクトポリシーに基づいて各学年の目標を設定し、それに沿ったタスクを課しています。



世界のリーダーシップを持つ偉人について、リテリング活動



右手にはこんなカードを持っています

その場でのパフォーマンスだけでなく、どのような準備ができたか、また、自分の課題を克服するために主体的な学習計画を立てられたかも加味して、成績が決定します。

日本語母語話者以外から授業を受けることもあります。令和4年度は、愛知教育大学に研修に来ている海外の英語教師お二人に授業をお手伝いいただいています。

ここでも、まとまりのある文章を聞いて、理解し、フィードバックする活動をしています。



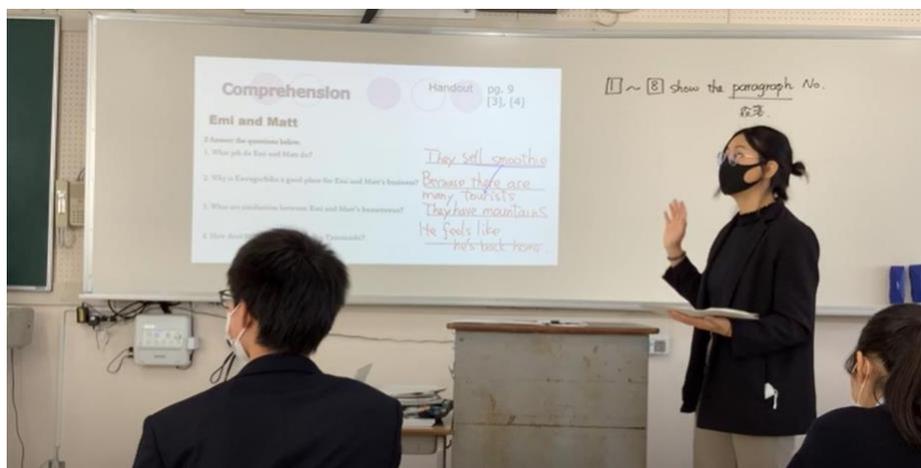
アグスティーナ先生の授業風景です。

彼女はエルサルバドルの高校の英語の先生です。



アイザ先生の授業風景です。

彼女はキルギスの中学校の英語の先生です。



通常の長文読解の授業も担当します。こちらはアイザ先生です。

## ・論理・表現 I

この授業の目標は、身近なトピックについて必要な語彙や表現を身につけた上で【知識・技能】、スムーズにやりとりできる力を養うことです【思考力・判断力・表現力】。またその際、論理的な根拠をもって【思考力】、説得力のある表現ができるように【判断力・表現力】、何度も練習を繰り返します。

2年次の最終段階でディスカッションをすることを目標にしています。

そのために1年生では、予め提示されたトピックについて賛成・反対の意見を考えておき、意見を表明した後で、相手の意見に即座に反論する練習をしました。



右の生徒が発表をしています。

左の生徒はこの後、右の生徒の発言を引用しながら反論をするのでメモを取りながら必死に聞き取っています。

時折、ALT の先生とやりとりをします。

この活動では、先生のプロフィールを2分間でどれだけ引き出せるか挑戦しています。



机上のタブレット(各自の端末)で活動を録画しています。生徒はこの後、会話の文字起こしをし、さらに内容をリライトします。

次の授業で、生徒同士で情報交換をし、リライトしたものをエッセイとして完成させました。